





配置した柱配筋オブジェクトを選択し、柱配筋ツールパレットで各種設定を変更します



して実行できます

※余長部分ではなく主筋根本をクリックします







オブジェクトの設定

配置した柱配筋オブジェクトを選択し、「オブジェクトの設定画面(Ctrl+T)」で各種設定を変更します





作成方法

【円柱配筋】各項目を設定後、柱を選択して配置します

【円柱配筋の設定】

柱梁配筋ツール ×	1 主筋径を選択します		
■ P柱配筋 ¹⁰ SCP	2 主筋本数と寄せ筋を設定します リンクボタンを有効にすると柱頭側と柱脚側の本数		
	をそろえることができます		
2 主筋本数 柱頭側 12	リンクON リンクOFF		
柱脚側 12 🧳	3 かぶり厚さを設定します		
3 かぶり 40.0 mm	4 柱頭・柱脚から最初のフープまでのかぶり厚さを 設定します		
4 ⑥柱頭かぶり 0.0 mm ⑦柱脚かぶり 0.0 mm	5 フープの径とピッチを設定します リンクボタンでピッチをそろえることができます		
	[高さ]で上部と下部のパネルゾーンの範囲を		
5 フープ径 □螺旋フーブ ビッチ(mm) 高さ(mm)	指定できます 「螺旋フープに「ファスカスと螺旋フープを作成でき		
	ます(配置後の変更はできません)		
(2)—№(Ho) D13 ~ @ 200.0			
③下部バネルソーンD13 ~ @ 200.0] 1000.0			
6 主筋柱頭柱脚 余長 折曲げ内法直径(D) ②	住頭ノックと柱脚の曲り走着の設定かできます d:鉄筋の呼び名		
柱頭フック なし ~ 0 ×d	[上部・下部オフセット]で投影定着長さを設定します		
柱脚折曲げ定着 すべて ~ 6 ×d 0 ×d ③	7 表示フロアを設定します		
④上部オフセット 0.0 mm			
⑤下部オフセット 0.0 mm 5 100 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	8 配置するレイヤーを設定します		
9	9 配筋を作成する円柱を選択し(複数選択可)		
7 表示フロア 配置フロア ~	+ をクリックして配筋オブジェクトを作成します		
8 🥶 👁 🔉 ARCHICAD レイヤー	▲ 確認 ? ×		
	選択中の円柱への配筋を開始しますか?		
	10 柱梁配筋ツールパレットの開閉		
	11 設定項目の登録		
	ー 登録した内容はプルダウンメニューから選択でき、選		
	択後設定を変更し[上書]をクリックすると変更が可		

能です



円柱配筋の編集

配置した円柱配筋オブジェクトを選択し、柱梁配筋ツールパレットで各種設定を変更します

1 ● 円柱配筋編集 SOP 2 編集モードの切替え 2 ▽編集モード 符号: C1 断面寸法: D 1000 (月柱配筋編集)ページでの変更は円柱面 1 主筋(柱頭側): 12-D25 主筋(柱脚側): 12-D25 (福集モードの切替え 3 アープ設定 径 ビッチ(mm) 高さ(mm) かぶり(mm) (編集するオブジェクトを選択し、) を入れて 3 アープ設定 径 ビッチ(mm) 高さ(mm) かぶり(mm) (編集するオブジェクトを選択し、) を入れて 二 上部パネルゾーン D13 ○ 200.0 1000.0 0.0 0.0 (日) (日)	3筋オブ :各種設 だ :のかぶり厚
2 図編集モード 符号: C1 断面寸法: D 1000 [円柱配肋編集/ページでの変更は円柱面 ジェクトごとに行います(複数選択不可)) 3 フーブ設定 径 ビッチ(mm) 高さ(mm) かぶり(mm) 」螺旋フーブ 編集するオブジェクトを選択し を入れて 定を変更します 3 フーブ設定 径 ビッチ(mm) 高さ(mm) かぶり(mm) 」螺旋フーブ 上部パネルゾーン D13 ○ 200.0 1000.0 0.0 一般(Ho) D13 ○ 200.0 1000.0 0.0 下部パネルゾーン D13 ○ 200.0 1000.0 0.0 「高さ(:: L部・下部パネルゾーンの範囲語 [かぶり]: 柱頭・柱脚から最初のフープます [螺旋フーブ]: 螺旋フーブの切替 「かぶり]: 柱頭・柱脚から最初のフープます	:あオノ :各種設 :定 :のかぶり厚
3 フーブ設定 径 ビッチ(mm) 高さ(mm) かぶり(mm) 螺旋フーブ 上部パネルゾーン D13 ◇ ② 200.0 1000.0 0.0 一般(Ho) D13 ◇ ② 200.0 1000.0 0.0 下部パネルゾーン D13 ◇ ③ 200.0 1000.0 0.0 「前ボオンセットー括設定(mm) 余長(mm) 呼び径倍数 5 [螺旋フーブ]: 螺旋フーブの切替	を種設 た でのかぶり厚
上部パネルゾーン D13 ~ @ 200.0 1000.0 0.0 一般(Ho) D13 ~ @ 200.0 200.0 1000.0 0.0 下部パネルゾーン D13 ~ @ 200.0 1000.0 0.0 3 7-プの径やピッチの設定 「高さ]: 上部・下部パネルゾーンの範囲語 [ふむ]: 上部・下部パネルゾーンの範囲語 「かぶり]: 柱頭側 0.0 設定 5 「は頭側 0.0 設定 375.0 ○ 0 ×d 設定	だ定 ぎのかぶり厚
All (10) D13 ○ 200.0 1000.0 0.0 [ac] : 上部・下部パネルゾーンの範囲語 [かぶり]: 柱頭・柱脚から最初のフープまで [螺旋フープ]: 螺旋フープの切替 4 主筋オフセットー括設定(mm) 余長(mm) 呼び径倍数 5 [螺旋フープ]: 螺旋フープの切替	と定 ぎのかぶり厚
4 主筋オフセットー括設定(mm) 余長(mm) 呼び径倍数 5 [かぶり]: 柱頭・柱脚から最初のフープまで [螺旋フープ]: 螺旋フープの切替 4 	でのかぶり厚
柱頭側 0.0 設定 375.0 ← 0 ×d 設定	
柱脚側 0.0 設定 375.0 ← 0 ×d 設定 4 主筋オフセットの一括設定 は可は出地の料点に1.1 にに定ったりに	u ++
6 主筋端部一括設定 余長(mm) 呼び径倍数 折曲げ内法直径(D)	しまり
柱頭フック なし ✓ 50.0 ← 0 ×d 2 ×d 一括設定 5 柱頭と柱脚の鉄筋位置がずれている場合 <td< th=""><th>iに ┋できます</th></td<>	iに ┋できます
7 余長個別設定(柱頭·柱脚自動判別) 個別設定 個別削除 □連続	
平面図編集設定 3 D 編集設定	
編集断面指定 図長さ	
 ☑ かぶり ☑ かぶり ☑ かぶり ☑ フック・折曲げ定着 	
	I-AX
□ 日生が個別と設定 一般	し、[余
設定 全クリア 長]と[折曲げ内法直径]を設定して[一括 □ 連続 クリックします	設定]を
	し、変更
する主筋をクリックします。 する主筋をクリックします。	

※円柱配筋のその他の編集については[柱配筋の編集設定](3、4ページ)を参照ください

して実行できます

P

※余長部分ではなく主筋根本をクリックします



作成方法

【梁配筋】各項目を設定後、梁を選択して配置します





作成基準

梁配筋の [始点] [終点]について

梁配筋の始点・終点は梁オブジェクト作成時の入力方向によって決まります 作成した梁配筋の始点側には始点マークの〇が表示されます





能です





5 主筋端部の長さの設定

変更する端部を有効にし、変更項目の数値を入力して [設定] もしくは [一括設定] をクリックします 余長を個別で変更する場合は [余長設定] に長さを入力し [個別設定] を選択した後に変更する主筋の根本をクリックします [連続] に ☑ を入れると余長の個別変更を連続して実行できます

6 定着全長固定モード 有効にするとすべての主筋の定着全長を同時に変更できます 主筋移動時連動 有効にすると始点、中央、終点などの主筋を同時に移動できます 端部領域範囲編集 有効にすると端部の領域にHotspotが表示され範囲を変更できます 段毎に長さを揃える 個別に設定した定着長さを同じ長さに変更できます スタラップ吸表示・非表示を切替えます 主筋スタラップ吸着 スタラップいら離れた最外端の主筋を、スタラップに接するよう移動します

7 ハンチ起点の定着長さの設定

8 主筋の色を個別に変更します 色を指定し[設定]を選択して変更する主筋をクリックします





梁配筋は編集する要素が多いため必要な要素のみ表示して編集します

赤のHotspotをクリック→ペットパレットの [頂点を移動 🕂] で、主筋などの形状変更が可能です 黒のHotspotをクリック→ペットパレットの [移動 🔂] で、配筋の移動が可能です







オブジェクトの設定

配置した梁配筋オブジェクトを選択し、「オブジェクトの設定画面(Ctrl+T)」で各種設定を変更します

▼ 🔚 梁配筋設定				
<構成情報> 符号:G1 梁寸法(b×D×L) 主筋径:D25	: 500×700×2200 スタラップ径 : D13	腹筋径:	前 D16	次頁
主筋本数 上1段 5 上2段 2 上3段 2 上3段 2 上5段 2 上5段 2 下5 4 5 下5 2 2 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	中央部 終点側 5 5 0 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 2 0 5 5	段間隔 > 28 > 28 > 28 > 28 > 28 > 28 > 28 > 28	腹筋本数: 1x2 かぶり 下: 40 右: 40 上: 40 左: 40 スタラップビッチ 始点側: 200 終点側: 200	
※ 沈夏 をクリックするとページが切り替わります				
▼ 緊曲 梁配筋設定				
前頁》次頁				
1 始点主筋材質	一般 ▶	2	平面図着色	
中央主筋材質	一般・		ガイド線	

解像度 8 🕨

|√| 始点マーク

主筋などの色を変更します
 主筋(始点、中央、終点、角)、スタラップ
 腹筋、ペン色をそれぞれ変更できます
 ※ペン色を変更しても輪郭の色が変わらない場合
 は[平面図と断面図]の[シンボル]/[オブジェクトペンの
 上書き]をOFFにしてください
 2 平面図の着色

ガイド線の表示・非表示 解像度の変更 ※数字が小さいほどデータが軽くなります 始点マークの表示・非表示

終点主筋材質

角主筋材質

スタラップ材質

腹筋材質

べン色

一般

一般

一般

一般

ø

Þ

₽

Þ

Þ